

中せんのボタンを押したときに「ブシュッ」と蒸気が出た
 熱い飲み物を入れたとき、内部の空気が温められて膨張し、内圧が上がるために起こる現象です。熱い飲み物を入れたあとは、注ぎ口を開けたまま中せんを取りつけ、しばらく(約20秒)おいてから注ぎ口を閉めてください。

製品を振ると「シャカシャカ」という音がする
 保温/保冷効果を高めるために、本体内部に入れている銅箔(アルミ箔)がこすれて出る音です。異常ではありません。

部品の交換・購入について

- 損傷した場合は、新しい部品と交換(有償)してください。
- お買い求めの際には、製品の品番をご確認のうえ、お買い上げの販売店でお求めください。(ホームページでのご購入は下記の「お客様ご相談窓口」参照)

部品名	部品番号
中せん	S40-6B
中せんパッキン	BB183001M-01
ステンレスボトル用洗剤 ピカボトル(10g×4包入り)	SB-ZA01-J

- 中せん・中せんパッキンは消耗品です。1年を目安にご確認ください。
- 中せんなどの樹脂は食品衛生上安全な材料を使用していますが、ザラザラしてきたり、損傷してきた場合は新しい部品に交換(有料)してください。

お客様ご相談窓口

修理・お取り扱い・消耗品や部品のご購入などのご相談は、まずお買い上げの販売店にお問い合わせください。ご転居やご贈答などでお困りの場合は、弊社の窓口「お客様相談センター」にお問い合わせください。所在地・電話番号などは変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

お客様ご相談センター



フリーダイヤル
0120-345135

※携帯・PHSからもご利用になれます。

- 受付時間 9:00~17:00 月曜日~金曜日(祝日・弊社休業日を除く)
- 一部のIP電話など、フリーダイヤルがご利用いただけない電話でのお問い合わせ
TEL (06)6356-2451(有料)
 - FAXでのお問い合わせ.....FAX (06)6356-6143(有料)
- 製品の「品番・お問い合わせ内容」と、お客様の「お名前・ご住所・電話番号・FAX番号」をご記入のうえ、お問い合わせください。

〒530-0043 大阪市北区天満1丁目19番9号

お客様からご提供いただく「お名前・ご住所・電話番号など」は、製品のアフターサービスおよびその後の安全点検活動のために利用させていただき場合がございますのでご了承ください。

■ホームページのご案内

部品・消耗品・別売品のご購入専用ページ <http://www.zojirushi-de-shopping.com/>

象印マホービン株式会社

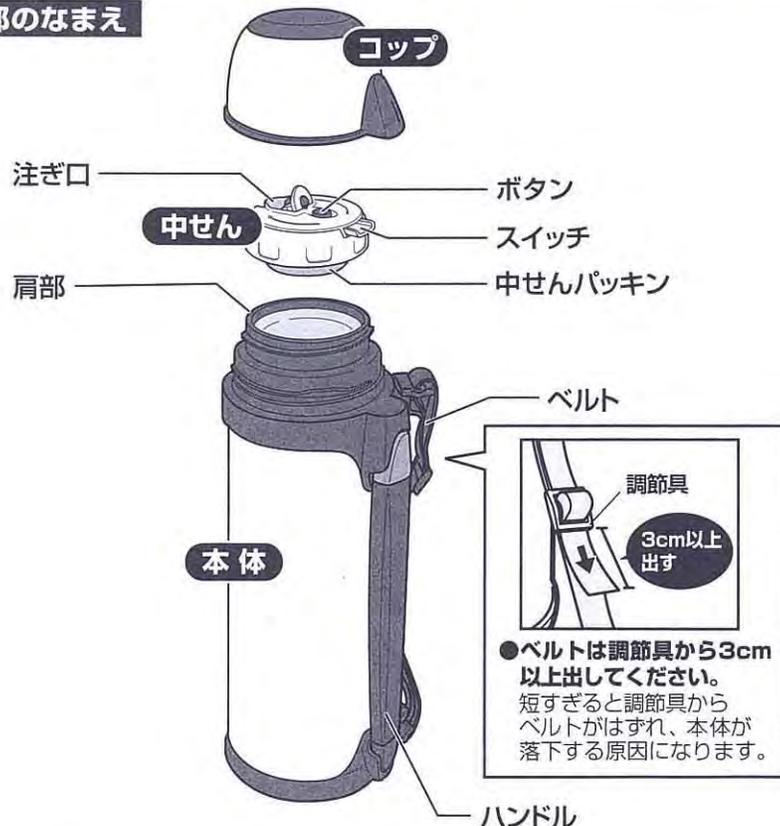
取扱説明書

ステンレスボトル
SJ-SD 型

ご使用前に必ずお読みください。
 お読みになったあとは大切に保管してください。

- ご使用ごとに各部品が取りつけられていることをご確認ください。

各部のなまえ



この製品は、飲み物を入れての保温や保冷を目的としたものです。飲み物の保温・保冷以外にご使用にならないでください。

- お買い上げの商品とこの取扱説明書に記載したイラストは異なることがあります。

必ずお守りください

●ご使用になるときは、やけどや飲み物の変質・変色や製品の故障・汚れを防ぐために、次のことは必ずお守りください。

乳幼児の手の届くところには置かない。
また、いたずらには十分注意する
やけどやけがなど危険です。

使用後はすぐに本体内側をよく洗う
さびや穴あきなどの故障や腐敗の原因になります。

改造や分解修理はしない
故障や事故の原因になります。

中せんは確実に取りつけて使用する。また、
使用後はスイッチを押し、注ぎ口を閉める
漏れてやけどなど危険です。

中せんパッキンは必ずつけた状態で使用する
漏れてやけどなど危険です。また車内や衣服を
汚す原因になります。

傾けた状態や、顔などの近くでボタンを
押さない
飲み物が急にいたり、飛散するなど、やけどの
恐れがあります。

保温性能が低下した製品は使用しない
熱い飲み物を入れると本体外側が熱くなり、
やけどの恐れがあります。

飲み物はその日のうちに飲みきる
腐敗の原因になります。また長時間放置した
場合は腐敗によりガスが発生し、本体内の圧力
が上がり、中せんをはずすときに飛んだり、
飲み物がふき出たり、中せん・コップなどが破
損して飛散することがあり危険です。

自動車走行中は飲まない
やけどをしたり、車内や衣服を汚す原因になり
ます。また運転者の場合、運転への注意が散漫
となり、非常に危険です。

飲み物の量は図の位置までにする
入れすぎますと中せんのボタンがかたくなっ
たり、中せんを取りつける時、飲み物があふれる
原因になります。また、中せん内に飲み物が入り、
あとから漏れ出すことがあります。入れすぎた
場合は少量の飲み物を捨ててから、元通り中せん
を取りつけて下さい。



飲み物の位置

電子レンジでの加熱はしない
火花が飛び危険です。また、変形や変色の原因
になります。

ストーブやコンロなど火のそばに近づけない
変形や変色の原因になります。

飲み物の保温・保冷以外に使用しない
飲み物を入れての保温や保冷を目的としたも
のです。

熱い飲み物を入れた場合

- 飲み物を注ぐときはゆっくり傾ける
飲み物が勢いよく出てやけどの恐れがあります。
- 本体を振らない
やけどやけがなど危険です。
- 飲む際にやけどの恐れがあるので注意する
断熱効果により、熱い飲み物を入れても本体
外側は熱くなりません。
- 直接飲む前に、必ずコップを使用する
やけどなど危険です。
- 本体内の圧力が上がり、中せんをはずす
際にかたくなることがあります。そのと
きはボタンを押したあとに、中せんを
はずしてください。
無理に中せんをはずすと中せんが飛んで、
けがややけどの恐れがあります。

次の物は絶対に入れない

- ドライアイス・炭酸飲料など
本体内の圧力が上がり、中せんが開かなか
ったり、圧力によっては飲み物がふき出たり、
中せん・コップなどが破損して飛散するこ
とがあり危険です。
- 牛乳・乳飲料・果汁など
成分が腐敗することがあります。そのまま
長く放置した場合は腐敗によりガスが発生
し、本体内の圧力が上がり、飲み物がふき出
たり、中せんやコップなどが破損して飛散
することがあり危険です。
- みそ汁・スープ・昆布茶など、塩分を多く
含んだもの
本体内側は、ステンレスにフッ素樹脂コー
ティングを施しておりますが、さびたり、
保温・保冷性能が低下する原因になります。
- 果肉・お茶の葉など
詰まる、漏れるなど故障の原因になります。

お手入れの際は次のことを守る

- シンナーやベンジン・金属たわし・研磨剤
入りたわし・みがき粉・クレンザーなど
は、使用しない
製品を損傷する原因になります。
- 塩素系漂白剤は使用しない
さびや穴あき（本体内側）など故障の原因に
なります。
- 煮沸はしない。また食器洗い乾燥機や
食器乾燥器などは使用しない
傷やさび・変形など故障の原因になります。

本体の丸洗いはしない

水が浸入し、さびが発生したり他の物を汚し
たりします。

本体外側の底に貼っているシールは 絶対にはがさない

さびや穴あきなど
故障の原因になります。



コップや中せんを持って運ばない
落とすと危険です。

ご注意とお願い

落とす、ぶつけるなど強い衝撃を与えない
樹脂部分が破損したり、ステンレス表面がへこみ、
保温・保冷性能が低下することがあります。

氷が大きくて入らない場合は、あらかじめ
小さく砕いてから入れる
無理やり押し込んだり、たたいたりすると、
変形し、故障の原因になります。

保温時に、コップの内面に水滴がつく（結露
する）場合がありますので、ご注意ください。

本体の絵柄をつめや固いものでひっかいたり、
こすったりしない
はがれる原因になります。

熱いやかんを肩部に触れさせない
転倒してやけどなどの危険が
あります。また傷や変形の
原因になります。



スポーツ飲料を入れて使用する場合は、次
のことを守ること

- 外出時など十分にお手入れができない場
合でも、使用したあとはすぐに本体内側・
本体外側（肩部）・中せん・コップをよく
水洗いしてください。
使用後放置しておくこと、さびや穴あきなど
故障の原因になります。
- 本体内側のフッ素コーティングを傷つけない
ように、柔らかいスポンジなどで
お手入れしてください。
傷がつくと、さびや穴あきなどの原因になり
ます。

ベルトを首に掛けたまま遊ばない。また、
周囲のものに引っ掛けないよう注意する
窒息の恐れがあります。

ベルトを持って振り回さない
けがや破損など危険です。

缶やびんなどを本体に入れない
変形し、故障の原因になります。

使用後は必ず中せん・中せんパッキンを
きれいに洗う
腐敗・カビ発生・におい移り・変色の原因に
なります。また飲み物が漏れる原因になります。

洗浄した中せんに、水が残らないよう
数回振り、十分ふき取る
残ったしずくが漏れてくる場合があります。

製品専用の部品以外は取りつけない
漏れや故障の原因になります。

熱いお茶を長時間保温すると、お茶の色が
変わります。お出かけの際は、ティーバッグ
などのご利用をおすすめします。

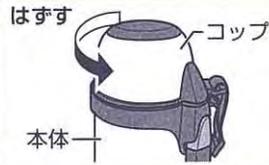
ティーバッグを入れたままで中せんを閉め
ない
ティーバッグがふくらみ、飲み物が漏れたり、
飛び散りの原因になります。

使い方

●ご使用前にコップ・中せん・本体内側・本体外側を、お手入れ方法に従って十分に洗ってください。

1 本体からコップ・中せんをはずす

コップ・中せんを矢印の方向に回し、はずします。



2 飲み物を入れ、中せんを取りつける

point

あらかじめ本体内側に少量の熱湯(冷水)を入れ、1分程度予熱(予冷)すると保温(保冷)により効果的です。

飲み物の位置



- 中せんは確実に閉めてください。
- 中せんパッキンが正しく取り付けられていることを確認の上、ご使用ください。(飲み物が漏れる原因になります。「P.7 中せんパッキンの取り付け方」参照)
- 本体を逆さにして漏れないことを確認してください。漏れた場合は「P.7,8 Q&A」参照
- 注ぎ口は確実に閉めてください。

3 飲み物を注ぐ

- ①飲み物を注ぐ場合は、本体を立てた状態で中せんのボタンを矢印(↓)の方向へ押し、注ぎ口を開ける
- ②本体を傾け、注ぎ口より飲み物を注ぐ
- ③注いだあとは、本体を立てた状態でスイッチを矢印(←)の方向へ押し注ぎ口を閉める



- 熱い飲み物を注ぐときはゆっくりと傾けてください。(飲み物が勢いよく出てやけどの恐れがあります。)

飲み物を注いだあと、本体を傾けた状態で、中せんの注ぎ口を閉じると中せん内に飲み物が残り、あとから漏れ出して衣類やバッグなどが汚れる原因になります。また、コップの内側にも飲み物の「しずく」が残ることがあります。飲み物の漏れによる汚れを防ぐため、次のことをご守りください。

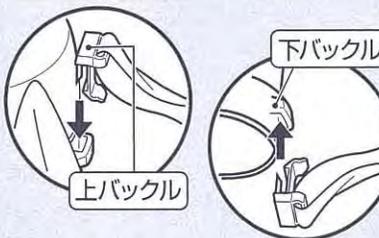
- 飲み物を注いだあとは、本体を立てた状態で2~3秒たってから、注ぎ口を閉じてください。
- コップの内側に残った「しずく」は、振り切ったあと、よくふいてください。
- バッグなどに入れるときは、万一の漏れを防ぐために本体を縦に置いてください。



ベルトのつけ方・はずし方

●箱の中にベルトが入っていますので、取りつけてご使用ください。

ベルトをつける



ベルトをはずす



- ①バックルの下側を手前に引きながら、
- ②上に引き上げるとはずれます。

ハンドルの使い方

ハンドルを引き出す



図のようにハンドルを矢印方向に引き出してください。

ハンドルを収納する



図のようにハンドル中央部よりやや上側を、矢印の方向に押し込んで収納してください。

お手入れ

●いつまでも清潔にご使用いただくために、ご使用後は必ずお手入れをしてください。

本体外側	ぬるま湯で薄めた台所用中性洗剤を柔らかい布に含ませふき取る。 ●ベルトをはずしてからお手入れしてください。
コップ	①ぬるま湯で薄めた台所用中性洗剤をスポンジに含ませて洗う。 ②すすぎ洗いのあと、数回振り、水気をふいてよく乾燥させる。
本体内側	①本体にぬるま湯を入れ、中せんをつけた状態で繰り返し湯を注ぐ。 ②中せんをはずし、ぬるま湯で薄めた台所用中性洗剤を柄(え)のついた柔らかいスポンジブラシなどに含ませて洗う。 ③すすぎ洗いのあと、水気をふいて乾燥させる。 ●常にお手入れをしていただきますと、においの付着を防ぎ清潔に使用していただけます。
ベルト	ぬるま湯で薄めた台所用中性洗剤を柔らかい布に含ませて、汚れをふき取ってください。その後、ぬるま湯を柔らかい布に含ませて固くしぼり、ふいてください。

お手入れ時の注意

- 本体の丸洗いはしないでください。
- 水中に放置しないでください。
- 煮沸はしないでください。また食器洗い乾燥機や食器乾燥器などは使用しないでください。
- 本体外側は、漂白剤を使用しないでください。本体の塗装、印刷、シールがはがれる原因になります。
- シンナーやベンジン・金属たわし・研磨剤入りたわし・みがき粉・クレンザーなどは、使用しないでください。
- 塩素系漂白剤は使用しないでください。



赤さび状の斑点や水アカなどのお手入れ

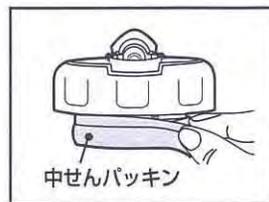
使用中、水質や不純物などにより本体内側に赤さび状の斑点が出たり水アカが付着することがあります。このような場合は、食酢を約10%加えた湯を入れ、中せんを取りつけずに30分~1時間置いたあと、本体内側をよく洗ってください。(上記の「お手入れ」参照)

茶しぶなどのお手入れ

- 本体内側・中せんにごりついた茶しぶなどの汚れには「象印ステンレスボトル用洗剤【ピカボトル】」をご利用ください。(別売品)(P.8参照)
- ピカボトルを使用する場合は、中せんを本体からはずしてください。

中せんのお手入れ方法

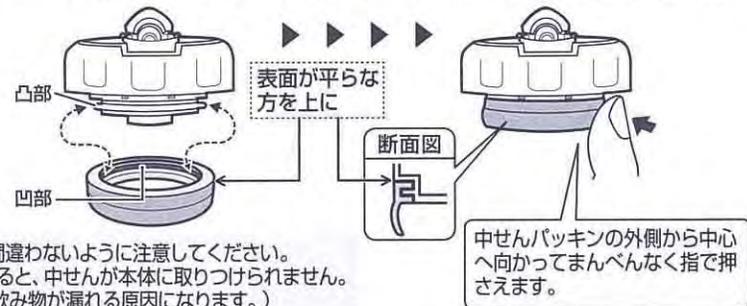
- 1 ボタンを押して注ぎ口を開ける
- 2 中せんパッキンを取りはずす(右図参照)
- 3 ぬるま湯で薄めた台所用中性洗剤をスポンジに含ませて中せん・中せんパッキンをそれぞれ洗い、乾燥させる



- 洗ったあとは、注ぎ口を開けた状態で数回振り、中せん内に水が残らないようにしてください。表面に残った水分はふき取ってください。
- 食器乾燥器などでの乾燥はしないでください。(変形の恐れがあります。)
- 使用後は必ず中せんパッキンをきれいに洗ってください。(カビ発生の原因になります。)

中せんパッキンの取りつけ方

- 中せんは分解しないでください。
 - 中せんパッキンは、正しく取りつけてください。(作動不良・飲み物が漏れる原因になります。)
- 中せんパッキンの凹部と中せんの凸部を合わせ、周囲から押し込むようにして取りつけます。



Q&A

症状	原因	処置
中せんから飲み物が漏れる	中せん・中せんパッキンが正しく、しっかり取りつけられていませんか。	パッキンの取り付け位置や方向・浮きがないことを確認してください。(上記「中せんパッキンの取り付け方」参照)
	中せん・中せんパッキンが汚れていませんか。	お手入れ方法を参考にし、お手入れしてください。(P.6,7「中せんのお手入れ方法」参照)
	飲み物を入れすぎていませんか。	少量の飲み物を捨て、正しい量にしてください。(P.2「飲み物の位置」参照)
飲み物(本体内側・中せん)がにおう	飲み物を長時間入れたままにしたり、本体内側・中せんやパッキン類に茶しぶなどの汚れが付着していませんか。	お手入れ方法を参考にし、お手入れをしてください。汚れが落ちにくい場合はピカボトルをご利用ください。(P.6,7「お手入れ」参照)
保温(保冷)が効かない	十分に熱い(冷たい)飲み物を入れていませんか。	十分に熱い(冷たい)飲み物を正しい位置まで入れてください。予熱(予冷)をするより効果的です。(P.4「2 飲み物を入れ、中せんを取りつける」参照)